

「恋人の聖地観光協会」が発足

静岡市に本部を置くNPOの地域活性化支援センターが地域振興策として取り組む恋人の聖地プロジェクトで、聖地に選ばれた全国46市町が19日、「恋人の聖地観光協会」を立ち上げた。

旅行に出掛けなくなったとされる現代の若者に旅の魅力を知ってもらおうと、日本観光振興協会などの力を借りながら2006年（平成18年）にプロジェクトを開始。プロポーズを告げるのにふさわしい「聖地」はサテライトを含むと全国200カ所以上に広がっている。

今回は北海道帯広、長野県大町、北

九州の各市などが参画して仮想の観光協会を設立。初代会長は千葉県館山市の金丸謙一市長で、参加自治体はホームページ作成や共同イベント開催で、活動を盛り上げる。



プロジェクトの一環となるプロポーズの言葉コンテストでは、登山好きの千葉県船橋市の女性が恋人に告げた「私がお婆ちゃんになっても手を引いて一緒に山に登ってくれますか？」が最優秀賞に決まった。

セレモニーには、ブライダルデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さん、タレントのIMARUさんらが出席した。